



ハイウェイ九条を考える会



ハイウェイ九条の会ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/~highwey9/> (アドレスを変更しました)

総選挙後の事件に思う

千葉県 香取市在住 西岡 幸雄

安倍首相の暴走は、とうとう「邦人人質惨殺」を招いてしまった。いつか起きるのではないかと心配していたのだが。

有権者の過半数に大きく満たない 4 分の 1 の支持率で、自民党が国会議席の 3 分の 2 近く獲得するという、悪魔の「小選挙区制」のお陰で「国民の承認を得た」とうそぶき、候補者のほとんどが選挙中には触れなかった事ばかり発言し、実施しようとしている。

今回の人質事件も、昨年 8 月と 11 月には二人の拘束情報を把握しており、拘束された身内から要請があっても「自己責任」でかたづけ、公表もせず手も打たないできた。そして総選挙後の絶対多数の勢いで、中東訪問し「イスラム国と闘う周辺諸国に 2 億ドル支援」を声高々に約束した。その途端二人の「殺害警告」がインターネットに流された。

慌てて「あれは人道支援だ」と取ってつけたように言い訳したが、もう遅い。カイロでの「2 億ドル支援」発言は、誰がどう見ても発言の主旨は人道支援なんかじゃない。ここで問題なのは、マスコミが無批判に政府の発言を垂れ流していることだ。

「あさいち」柳沢キャスターが、「後藤健二さんが一体、何を伝えようとしていたのか。戦争になったり、紛争が起きると弱い立場の人がそれに巻き込まれて、つらい思いをするということを、彼は一生懸命に伝えようとしていたんじゃないか。それを考えることが、ある意味、こういった事件を今後、繰り返さないための糸口が見えるかもしれない・・・。」との発言を真剣に考えて欲しい。

平和国家日本のイメージが崩れ去る

大変に心配なのは、政府が「邦人救出」を口実に、海外で「救出」の軍事作戦を可能にする自衛隊法の整備を検討すると言ひ、更に、いつでも、世界のどこにでも、どんなケースでも自衛隊派兵ができる「恒久法」を狙っていることだ。

安倍政権のこうした言動で、で憲法 9 条を持つ平和国家日本という、戦後日本が築いてきたイメージは、中東でも世界でも完全に崩れ去っているのではないか。そして、日本国内での「テロ」の可



後藤 健二さん
 出演

livedoor.blogimg.jp

能性さえも危惧される。それを防ぐのは、軍事力ではなく 9 条外交しかない。

おりしも衆参両院は、2 月 5、6 日にわたり「イスラム国」非難決議を全会一位で決議した。国連も同様な決議をするだろう。世界の平和を求め、国際人道法・人権法に沿う包囲網で、「イスラム国」に限らずあらゆる「テロ」を無くして行く時だ。

そこにはやっぱり日本の憲法 9 条が見本となり、世界を引っ張っていこう。二人の冥福を祈りながら。

憲法 9 条のある日本「国は悪いようにはしないだろう」という過信は禁物

山梨県甲斐市 小沼俊彦

笹子トンネル天井板が落下した事故は、まだ記憶に新しい。私は天井板が設置された当時、笹子トンネル工事事務所において「吊り下げるアンカーボルトは強力な接着剤で固定されていて、絶対に落さない」との説明を聞いた記憶がある。ボンクラの私は「絶対落さない」を鵜呑みし、なんの疑問も感じなかった。

憲法 9 条のことである。随分まえから「アメリカから押し付けられた」とか、安倍総理に至っては「憲法は自分で書く」なんて言う始末、つねに「改正」論にさらされて来た。しかし、心の隅では「あの憲法が変えられるはずがない」と思っていたことも確かだ。

現憲法は占領下でなければ制定できなかったのはそのとおりだが、アメリカ人が書いて押し付けられたものではない。自民党などの草案が

(2 面に続く)

旧憲法のマイナーチェンジ程度のお粗末さに業をにやしたアメリカが、日本の憲法学者、鈴木市蔵らに依頼して作った草案がもとになっているのだ。映画「日本の青空」を見るとそのことがよくわかる。

戦後 70 年、現憲法のもと平和な時代が続いてきた。しかし、それが永遠に続くかどうか分からない。私は安倍総理を狂人と見ている。とって改憲を阻止できないほど日本人が愚か、とは思わない。幸い、昨年末の選挙で、政党助成金も企業団体献金も受け取らず、アメリカや財界とは一線を引き、改憲にキッパリ反対する政党が躍進した。改憲を阻止する力は大きくなったと思うのである。



最近読んだ本

群馬県藤岡市在住 尾関計久

9条「解釈改憲」から密約まで対米従属の正体—米公文書館からの報告(末波靖司著・高文研)を読んだ。

あの砂川裁判、米軍駐留は違憲という伊達判決を最高裁判長官が米国中日大使に判決を覆すことを事前に告げていたこと、また、最高裁砂川判決は日米安保条約に関して「裁判所の司法審査権の範囲外」にしたことが、憲法の上に安保条約があることをあらわにしていって行くこととなった。

米公文書館へ7年間通った報告書としての力作である。

同じ時期にS氏に薦められ、『日本はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか』(矢部宏治著・集英社)を読んだ。

パート1 沖縄の謎「基地と憲法」衝撃なのは米軍機は普天間飛行場の訓練ルートは市街地上は飛んでも米軍住宅上空は全く飛んでいないで始まる。この本も日米安保条約から従属が始まっていることを明確にしている。

砂川裁判の最高裁判決によって日本国内法より安保法体制が上位に位置することが確定してしまった。また、日本のエリート官僚を含んだ「日米合同委員会」が毎月2回会議を行い、いろいろな合意が生まれていく。

日本が真の独立国となるために、フィリピンと米軍の関係、ドイツの歴史に学び1945年に戻ったつもりで、もう一度周辺国との関係改善をやり直すことと記しています。

総選挙雑感

富山県入善町在住 大角 守男

昨年12月14日、北陸富山は雪が降り寒い投票日となりました。アベノミクスの賛否を問うとの口実で突然敢行された解散総選挙、投票用紙に候補者名を書きながら、選挙結果を想像すると、不安で不気味な感じがしていました。

与党安倍政権が多数の議席を獲得したら、何をしようとしているのか、容易に想像出来ました。

近隣の中国や韓国と仲良くしようとせず、むしろ軽視し挑発し、近隣諸国を侵略した戦争に対する反省や謝罪の気持ちはなく「集団的自衛権閣議決定」「特定秘密保護法施行」「憲法改正と自衛隊の海外派遣」の方向に一直線に進んで行こうとしてゆくだろうと・・・。

選挙結果は案の定、与党が三分の二以上を獲得する結果となりました。予想していたとは言え不快で不安な思いでした。そんな中でも希望が二つ見えてきました。ひとつは共産党が21議席と久しぶりに躍進した事です。低賃金や非正規雇用に苦しむ若者世代が共産党を支持し若い議員を当選させた事で今後の更なる躍進に希望が出て来たように思います。

もうひとつは、オール沖縄の勝利です。基地移転反対で連帯して戦い、自公に対しすべての選挙区で勝利し沖縄県民の意思を示しました。これは痛快でした。その後、基地移転反対で当選した翁長知事の上京に際し、総理大臣や閣僚が会談を拒否した行為は、民主主義を否定し沖縄県民を侮辱することであり、怒りを感じます。

誰もが、戦争で人殺しをすることは狂気でなければ出来ません、殺されるのも否です。9条を守り平和を守らなくてはと思います。

原発事故で映画「猿の惑星」の禁断の地が福島に出来てしまいました。そんな馬鹿な事が、他でまた起きたら日本全滅です。廃止しかないと思います。

いま世界中で貧富の格差は広がり、差別と貧困が原因の争いやテロが起きています。

ヘイトスピーチや政府のマコミ攻撃も気になります。9条を守るには言論の自由を守ることが重要だと思えます。

私の住む隣町の朝日町は、戦前の言論弾圧事件「横浜事件」の発端となった「泊会議」をでっち上げ治安維持法違反容疑で逮捕された、細川嘉六氏の出身地ですが、四年前の町選挙で共産党籍の町長が当選した事がありました。郷土の歴史は継がっていると感じます。

会報読者アンケート結果・続報

昨年7月、ハイウェイ九条の会は会報読者の皆様にアンケートをお願いし、前会報(NO.24)にて回答をご紹介しました。前号の編集後に返信をお寄せいただいた方がありましたのでご紹介します。

◎ 憲法九条についてお聞きします。

☆ 「①改正すべき」と回答された方のご意見

・ 日本国は戦後70年が過ぎようとしているこの時代に、現憲法に定められている条文では、国の行政運営に支障が生じている。現代社会に合った憲法改正が必要と思う。

☆ 「②改正すべきでない」と回答された方のご意見

・ 戦後、今まで平和であることは憲法9条に守られている。
・ 第二次世界大戦後69年間憲法9条を守ってき、今更変えるべきでない。憲法9条は日本国の不戦の誓いである。
・ 「戦争放棄」は侵略戦争へ国民一体となって突き進んだ反省からの教訓であり、米国に押し付けられたものでないことは明確になりつつあり、「世界の宝9条」といわれる所以である。「戦争のない世界を」と推進している国々、世界の潮流に真っ向から挑戦するもので、許されない。



◎ 安倍内閣が憲法9条の解釈変更で、集団的自衛権行使容認を閣議決定しました。これについてお聞きします。

☆ 「①賛成」と回答された方のご意見

・ 国民の多数が現憲法を改正する必要がある(第9条は除く)と以前から述べていたが、今までの総理大臣はこの問題を真剣に取り上げなかった。今回安倍総理のリーダーシップにより憲法の解釈変更が閣議決定されたことが、今後、国民の憲法改正について、より関心が深まるのではないかと思う。

☆ 「②反対」と回答された方のご意見

・ 自国の自衛から、すでに戦争に協力に意味をなす。
・ 集団的自衛権行使容認は日本国が戦争をするのが目的である。
・ ”憲法クーデター” というものであり、絶対に認められるべきものではない。糸井重里氏が「まず、総理から前線に」というコピーを発表(1982年6月広告批評)したが、「自分は戦場に行かないから何をやってもOK」との安倍”能天気”首相にもう一度、突きつけてやりたい。



浮棧橋を再設置する作業員ら＝1月15日
名護市辺野古 沖縄タイムスより

◎ 安倍内閣が憲法9条の解釈改憲で、集団的自衛権行使容認を閣議決定したことにより、アメリカなど同盟国の戦争に巻き込まれるとお考えですか？

☆ 「①巻き込まれる可能性が高まる」と回答された方のご意見

・ アメリカの基地として利用される。
・ 一旦戦争に巻き込まれたら、抜差しならない。アメリカのイラク戦争がよき例である。国家の信用が失墜する。日本が69年間、戦争をしなかった実績がフイになる。
(4面に続く)

河内稔典さんのこと

昨年末、奥さんから訃報が届いて、「ハイウェイ九条の会」呼びかけ人のひとり、河内さんが2月に85才で旅立たれたことを知った。

腹の底から湧き上がるような哀惜の思いで、この訃報を眺めた。

思えば、長いおつきあいだった。1962年、この年の4月7日にかつての道公労が結成された。河内さんが副委員長で、ぼくは書記長になった。組織は瞬く間に全国・全職場が加入する大組織になった。

ところが、その数か月後、とんでもない事件が発覚した。委員長に、あるまじき行動があり、突然解任すべく、臨時の評議員会が開かれ、委員長解任が決まった。もしこの時、後任に適任者を得なかったら、結成直後の組合は空中分解しかねない危機に立っていたことだろう。しかし、この危機を河内さんは、一言も愚痴も、不満も漏らさず、「委員長代行」を引き受けて、救ってくれたのだ。

河内さんは、論理的な説得力と「みんなのための組合を育てよう」とする情熱で、ぐいぐいと指導性を発揮され、その後の組合委員長のまさに模範的な存在になられたと、わたしは思っている。

河内さん、ありがとうございました。ぼくの胸には、永遠にあなたが生き続けることでしょう。

2015年1月26日

清水 昇

・ 背景に米国オバマ大統領が執っている。中東からアジアへの重点地域の再設定＝「リバランス」戦略にあることは周知されてきていますが、中国や韓国、東南アジアでの紛争に対処しようとしているわけではありません。あくまで当面は中東での戦争に主眼をを置かれているのは明白。それに、自衛隊を”米軍の二軍”（小林節）として使おうとしている。自衛隊員やその家族からも悲鳴が聞こえるようになって来ました。

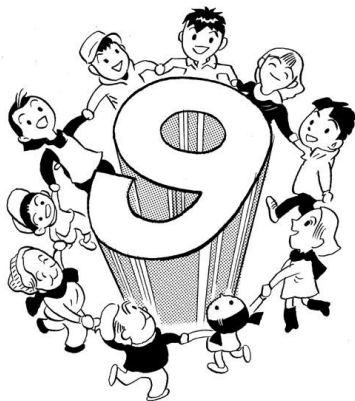
☆「②そうは思わない」と回答された方のご意見

・ 安倍内閣が集団的自衛権行使容認の閣議決定したことで、一部の人たちが、他国の戦争に巻き込まれるのではと述べているが、敗戦を経験した日本国民が、他国からの要請で簡単に戦争に巻き込まれる行動をするか、政治家も二度と同じ過ちを犯すような政治は行わないと思う。

◎ 5月21日福井地裁が、大飯原発2基について「運転してはならない」と再稼働差し止めを言い渡しました。原発の再稼働について、どのようにお考えですか。

☆「①国内全て再稼働すべきでない」と回答された方のご意見

- ・ 原子力のリスクを考えると、今後は他の電力開発に力を入れるべきと思います。
- ・ 原発と原爆と表裏一体で、絶対止めるべき、原発の放射性核廃棄物は10万年もの長きに渡って処理年月を要するので、未来世代に無責任である。
- ・ 判決は、原発NO!の全国に広がっている運動が勝ち取ったものです。秋田でも、金曜パレードを毎週取り組み、7月25日に100回目イベントを開き、核心を皆で喜んでます。やっぱり”憲法の力はすごい”が実感させられるものとなっています。



☆「③全て規制委員会の判断で」と回答された方のご意見

・ 現在、アベノミックスの効果で、日本の景気は好転していると言われているが、原発が停止している関係から、日本は石油輸入量が増え、輸出入の収支バランスが大きく崩れ、大きな赤字になっている。今後、石油産出国の紛争で益々石油価格が上昇することが懸念され、国内の産業力が低下し、景気が落ち込むことが心配。原子力規制委員会の審査の結果、合格した原発は一日も早く稼働すべきと思う。

その他・自由意見

- ・ 道路公団の人と久しぶりに会い、ハイウェイ9条の会の話をするが、ほとんどの人が知らないという。この会の規約などは有るのか、入会するにはどんな手続きが必要なのか、会報の中で一度紹介していただければと思う。(会報を希望する方は、1面の連絡先に電話をいただければお送りします)
- ・ 国民の小さな善意が多く集まって大きな力となって世の中を変えると信じています。お互いがんばりましょう。

主な出来事

- ◎ 7月9日、ヘイトスピーチ、二審大阪高裁も有罪
- ◎ 8月12日、武田良太防衛副大臣が奄美市と瀬戸内市を訪れ、奄美大島に350人規模の陸自の配備計画を明らかにした。
- ◎ 8月21日、靱井会長の罷免を求め、1500人以上のNHK元職員が声をあげる。
- ◎ 11月16日、沖縄県知事に辺野古への新基地建設反対の翁長氏圧勝。
- ◎ 12月10日、秘密保護法施行。
- ◎ 12月13日、中国南京市の南京大虐殺遭難同胞記念館広場で国家追悼日と位置づけた国家式典開催。
- ◎ 12月14日、衆議院選挙。自公で475議席の2/3(317)を越す(325)議席獲得。沖縄県の4小選挙区では自民全滅。
- ◎ 12月24日、第三次安倍内閣発足。安倍首相、記者会見で改憲発議、国民投票に言及。
- ◎ 1月9日、フランスの風刺週刊誌シャルリー・エブド本社で銃撃テロ発生。
- ◎ 1月19日、「イスラム国」を名乗るグループ、日本人2人を拘束。1月24日と2月2日、相次いで殺害したとの画像が流れる。

この会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。金額の大小を問わず協賛金にご協力をお願いします。協賛金振込口座 口座名義 西岡幸雄(ニシオカユキオ) 両行共通
 ①千葉興業銀行 佐原(さわら)支店・(店番号820) 口座番号 普通預金 1016510
 ②ゆうちょ銀行 [店名] 〇五八(読みゼロハチ)・(店番号058) 口座番号 普通預金 0543623